

●令和5年12月1日発行 ●発行所/明治用土地改良区 〒446-0065 愛知県安城市大東町22-16 ☎(0566)76-6241 ●責任者/杉浦正行
●ホームページ: <http://www.midorinet-meiji.jp/> ●E-mail: meijiyou sui@midorinet-meiji.jp



通水管理研修の様子



頭首工復旧状況の説明と現地視察

総代研修会の開催

令和5年7月15日・16日の2日間にわたり総代研修会を開催しました。

コロナ禍では縮小して行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に変更されたことにより、以前と同様に現地視察も併せ実施できました。

今回の総代研修会は配水総代・水路総代173人の参加により、通水管理研修では、総代の役割、今後の断水予定などについて、様々なご意見ご質問をいただきました。

また、現地視察として、国営総合農地防災事業で耐震化工事施工中の明治幹線水路を始め水利施設を車窓より視察し、水源管理所では国営頭首工復旧建設所による明治用水頭首工大規模漏水の復旧状況についての説明を、参加された総代の方々は、真剣な面持ちで聞き入っていました。

今後は明治用水頭首工の早期復旧を目指し、平時の通水状況に戻れるよう努めてまいりますので、更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年度の取り組み



明治用水土地改良区 理事長 杉浦 正行

令和5年も年の瀬を迎え、組合員の皆様におかれましてはご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

昨年の明治用水頭首工漏水事故発生より1年半が経ち、夏期通水の終わりから頭首工復旧工事が本格的に再開されます。

今年の通水は春先から降雨に恵まれ、鹿乗水系で節水がありました、ほぼ順調に推移しました。矢作ダム水系は漏水以前、ほぼ従来通りに戻りましたが、昨年のことを振り返ると、水の有難さをしみじみと噛みしめる毎日であります。改めてご尽力

いただいた全ての皆様に感謝御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の分類が、5月8日から5類感染症に移行し、それまでの行動規制が解除され、社会がコロナ以前の状態に戻るべく進んでおります。

しかしながらロシアウクライナ戦争に伴う世界的物価高騰は続いており、農業を取り巻く環境も依然と厳しい状況にあるといわざるを得ません。これらを打開すべく、国県へ明治用水頭首工の早期復旧と併せ農業農村整備事業に対する要請活動を継続して行ってまいります。

また、来たる令和6年（2024年）は安城を中心としたこの地域が「日本デンマーク」と呼ばれるようになって100年を迎える年であります。

この地域の農業は明治用水通水後、農地が飛躍的に増え、米作だけでなく養鶏や果樹などを組み合わせた多角形農業に取り組み、当時として先進的な作物の共同出荷や肥料等の共同購入を行うなど、この地域が世界的な農業国のデンマークと称されたのです。明治用水では関連する企画展示や講演会を開催する予定ですので、皆様のご参加をお待ちしております。

結びに組合員の皆様の更なるご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。挨拶とします。

国営総合農地防災事業「矢作川総合第二期地区」の近況報告



東海農政局矢作川総合第二期農地防災事業所 所長 井川 範彦

明治用水土地改良区・杉浦理事長様をはじめ組合員の皆様におかれましては、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より、国営総合農地防災事業「矢作川総合第二期地区」の推進にひとかたならぬご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

近況報告ですが、まずは、昨年5月に発生しました明治用水頭首工の漏水事故に対する状況ですが、昨年の10月から今年の5月にかけて、頭首工の下流エプロン、護床ブロックの復旧と遮水矢板の打設に続き、この10月からは、頭首工最左岸側の堰柱の

取り壊し、再構築の工事等を行う予定で、現在（9月時点）その準備を行っているところです。

また、今年度の耐震化対策工事については、明治本流上流部でのシールド工事を継続して行っている他、新規の工事として、明治本流上流部の豊田市上郷町、和会町及び広美町地内で暗渠工（現場打ちの2連ボックスカルバート他）の工事を、明治本流下流部の豊田市広美町地内で函体工（現場打ちの2連ボックスカルバート）等の工事を、安城市里町地内で函体工（現場打ちのボックスカルバート（今年度は左岸側））の工事をそれぞれ行っているところです。

工事にあたり、特に現場周辺の皆様方には、交通規制や騒音、振動、土埃など、ご不便やご迷惑をおかけしておりますが、先人から受け継がれてきた明治用水の耐震化対策のため、職員一丸となってしっかりと工事を進めてまいりますので、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、明治用水土地改良区の皆様の益々のご健勝をご祈念申し上げます。

主な行事の出来事 (令和5年4月~令和5年11月)

4月	明治用水女性部及び青壮年部総会 明治川神社通水式典	8月	農業用水展 (こども絵画展)
5月	明治用水女性部水源かん養林視察 (山間地産業体験)	9月	役員先進地視察研修 (岩手県：胆沢平野土地改良区等)
6月	地元組織及び海外学生等視察対応	10月	総代会総代造林地視察研修 臨時総代会
7月	国営・県営事業等の促進要請活動 青壮年部造林地視察研修会	11月	国営・県営事業等の促進要請活動 女性部上部施設清掃作業



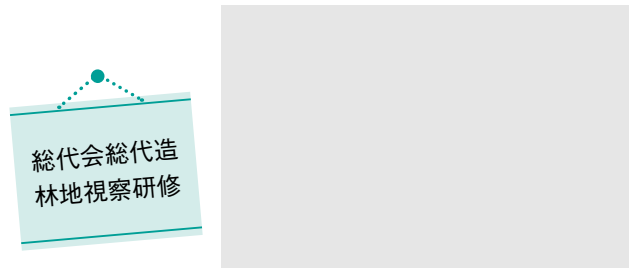
女性部山間地
産業体験 (植
菌作業)



東海農政局長
に要望書を手
交



役員研修 (胆
沢平野土地改
良区視察)



総代会総代造
林地視察研修

令和4年度の財務状況について

一般会計収支決算

単位：円

収 入		支 出	
科目(款)	決算額	科目(款)	決算額
1 組合費収入	237,980,340	1 土地改良事業費	827,108,851
2 土地改良事業収入	139,252,879	2 一般管理費	430,537,611
3 附帯事業収入	186,879,881	3 附帯事業支出	27,562,637
4 特定資産運用収入	39,956,723	4 負担金等	23,222,864
5 補助金等収入	510,941,188	5 借入金返済支出	0
6 固定資産貸付収入	38,487,118	6 固定資産取得支出	0
7 受託金収入	295,096,482	7 積立金繰出支出	304,441,374
8 雑収入	42,868,622	8 積立金取崩支出	27,236,375
9 借入金収入	0	9 他会計繰出支出	26,950
10 積立金取崩収入	139,024,228	10 予備費	0
11 固定資産売却収入	0		
12 他会計繰入収入	456,600		
13 繰越金	65,964,209		
収入合計	1,696,908,270	支出合計	1,640,136,662
差引残金 56,771,608円(次年度へ繰越)			

特別会計収支決算

●中井筋小水力発電事業特別会計

収入／4,998,339円 支出／4,998,339円
差引残金／0円

●パイプライン修繕事業特別会計

収入／47,063,083円 支出／46,959,697円
差引残金／103,386円

財産及び借入金の現在額

令和5年3月31日現在 単位：円

資 産	流動資産	697,405,767
	固定資産	30,425,501,762
	資産合計	31,122,907,529
負 債	流動負債	639,695,289
	固定負債	320,641,588
	負債合計	960,336,877
借入金		0

明治用水頭首工の漏水事故の復旧対策等について

令和4年5月に発生した明治用水頭首工の漏水事故においては、組合員の皆様をはじめ関係者の方々に大変なご迷惑とご心配をおかけしました。

漏水事故の発生直後から、農林水産省は応急対策として取水ポンプを設置するとともに、右岸側に矢板を設置することにより水位を上昇させ、ポンプ取水と自然取水を併用して用水供給を行いました。その後、令和4年10月から本復旧工事に着手し、令和5年5月までには漏水事故が発生した左岸下流エプロン（河床を保護するためのコンクリート製の底板）の撤去・復旧と左岸上流部の遮水矢板（河床から地下の岩盤層まで打ち込む鋼矢板）の設置等の工事が進められました。

また、漏水事故の発生を受けて設置された、有識者等による明治用水頭首工復旧対策検討委員会（以下、「検討委員会」という。）において、本復旧の対策工法について議論されました。農林水産省は、検討委員会の意見も踏まえ、本復旧の対策工法を、最も左岸側の堰柱（以下、「P1堰柱」という。）及び堰体を撤去し、基礎から新しく造り直す工法に決定しました。

これは、検討委員会において、漏水事故の発生メカニズムはパイピング（地下の土粒子が流され、地中に水が通るパイプ状の“水みち”ができる現象）によるものと結論付けられたことを踏まえ、今後同様な漏水事故が発生しない構造とするものです。

現在、農林水産省はP1堰柱及び堰体を撤去し、基礎から新しく造り直す工事を実施しており、令和7年度の完了を目指しています。

工事期間中の令和6年度のかんがい期間の取水は、本年度同様に左岸側上流に大型土のう等を設置して、河川水位を上昇させることで自然取水を行う予定としています。

本土地改良区としては、本復旧対策が円滑に進むよう関係機関と連携して取り組むとともに、農業用水の安定供給に努めてまいります。



企画展

日本デンマーク記念事業のご案内

明治用水開削の成果

「日本デンマークと言われて100年」

1880（明治13）年に明治用水が開削されると、荒涼とした碧海台地は次々に開墾され美田となり、安城を中心とした西三河一帯は一躍、稔り豊かな農業先進地へと生まれ変わりました。1924（大正13）年頃からは、当時の世界的農業国デンマークになぞらえ『日本デンマーク』と称されるようになり、新聞紙面や書籍の中でも紹介されました。農業の未来に希望を託した多くの視察者が全国から訪れ一大ブームとなったことで、その後は教科書にも掲載されるようになりました。

そうした時代から100年を数える令和6年、本土地改良区では『日本デンマーク』を築き上げた明治用水の恩恵と農民の努力、優れた指導者たちの活躍や産業組合の発展を通して碧海の変貌についてパネルで紹介する特別展示会を企画しました。皆さまお誘い合わせの上、是非ご来場ください。

〔場 所〕 明治用水水のかんきょう学習館（安城市大東町22番16号 大池公園内）

〔期 間〕 令和6年1月16日(火)～令和6年7月31日(水) 午前9:00～午後4:00（月曜休館）

〔内 容〕 パネル展

〔その他〕 期間中講演会などの催しも予定しています